



新型コロナウイルス対策の継続を～インフルエンザ警報発令中～

市内の新規感染者数は、直近の 2/20(月)～2/26(日)は、831 人と前週の 1,144 人から△313 人(27.4%)と 7 週連続で減少、第 8 波のピークであった 1/6～1/12 の週 11,887 人の 1 割以下まで減少しています。

一方、インフルエンザは、2/20～2/26 の市内 69 か所の定点医療機関から報告される流行指数が「28.01」となり、前々週の「35.58」、前週の「31.94」から 2 週連続減少傾向にありますが、依然「警報」発令中です。

こうした中、政府において、5/8 から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを季節性インフルエンザ等と同じ「5 類」に移行することを決定するなど日常の社会経済活動を取り戻す方向への舵取りが進められています。

しかしながら、決して新型コロナウイルスが消えたわけではなく、いつ新たな流行期に入るか予断を許しません。

当法人の施設では、先月 2 月、職員、利用者の陽性が、3 件ありました。

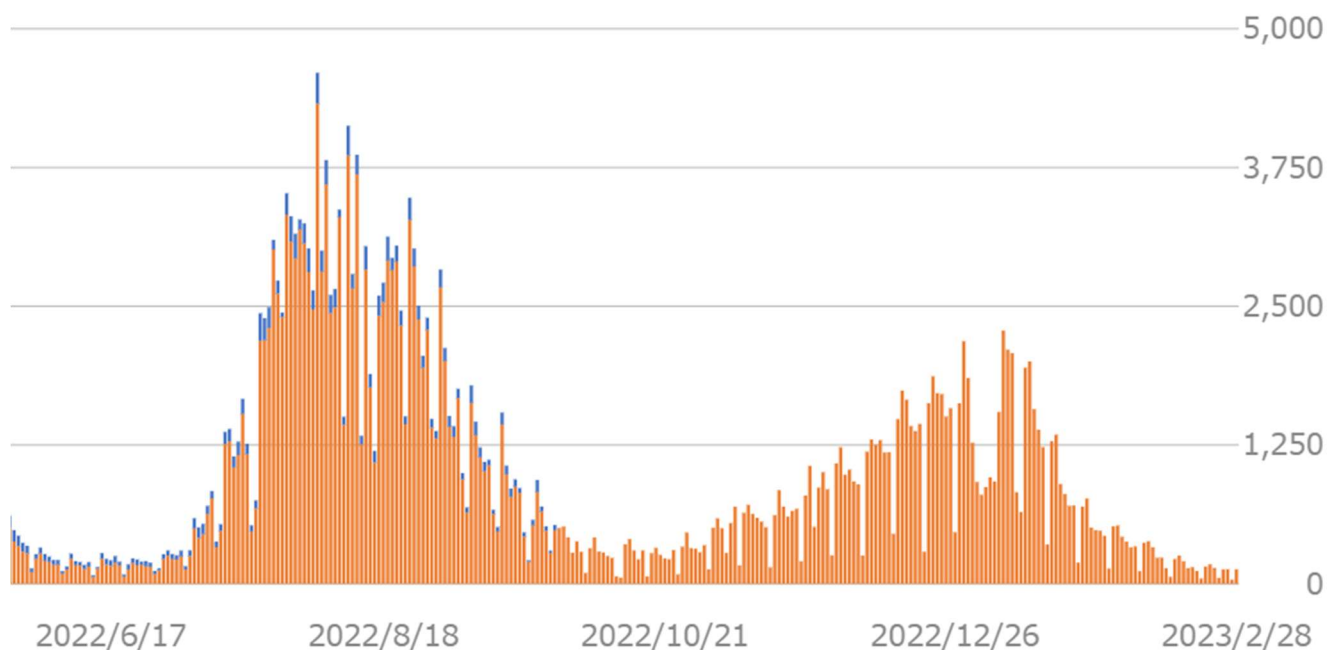
利用者さんの中には基礎疾患をお持ちで、重症化リスクの高い方も多くおられます。

私たち福祉施設ではこれまでと同様細心の感染症対策の継続が必要です。

職員の皆さんにおかれましては、引き続き、マスク、手洗い、距離確保、密の回避、こまめな換気など、日々の感染対策、利用者、職員の健康状態の把握など基本的な対策の継続をお願いします。

※令和 2 年 3 月号以降、毎月新型コロナウイルスの動向や法人内の感染状況等を情報発信してまいりましたが、今後は毎号ではなく、状況に応じて適宜掲載させていただきます。

京都市内の感染者数（日別）



いたはし学園移転候補土地購入について

いたはし学園については、平成18年の開設当初から民間建物を賃借し、これまで3回契約を更新するとともに、平成24年度には施設の手狭を解消するため、北側隣地(74.84㎡)を買収し、施設の拡張を行ってきました。

しかしながら、賃借建物は築50年を経過し建物全体が老朽化するとともに、施設が狭いいため利用者の増加に伴い作業スペースの確保が困難になるなど、いたはし学園の移転が法人としての重点課題のひとつとなっていました。

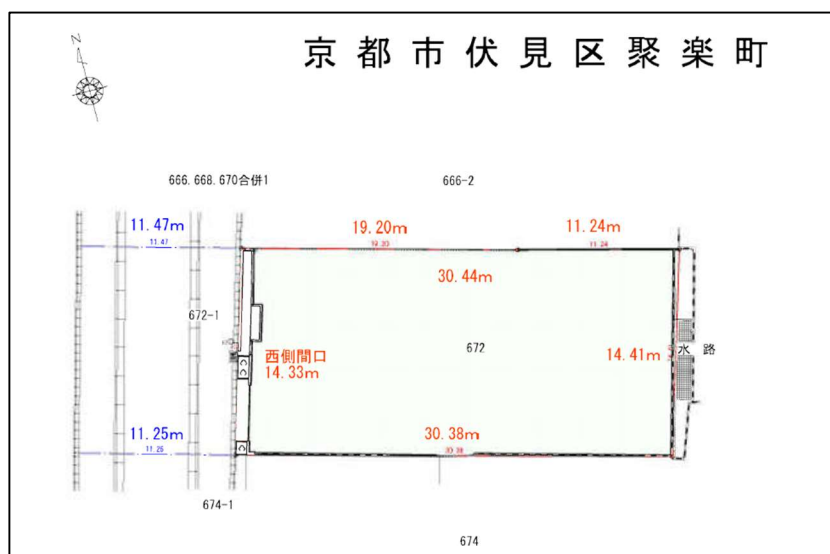
加えて、令和3年7月実施の京都市社会福祉法人等指導監査において、「就労移行支援事業を実施するため民間から貸与を受けている不動産について、安定的な事業の継続性を確保する観点から、建物の賃貸借契約期間を10年以上とすること。」との口頭指摘を受けました。

現状老朽化が進む建物の賃貸借契約期間を10年以上とすることは現実的でなく、移転候補地の選定を精力的に進めてきたところ、この度適任地が見付かり、理事会の議決を経て、契約の運びとなりました。

今後は令和7年4月の移転、竣工に向けて、遺漏のないよう準備を進めてまいります。

1 購入する土地

- (1) 京都市伏見区聚楽町 672 番地
- (2) 土地面積 公募 425.78㎡ (128.79坪) 古家付
- (3) 購入金額 1億5,000万円



2 経過及び今後の予定

- (1) 令和5年2月10日 仲介業者に不動産購入申込書を提出
- (2) 2月13日 仲介業者を通して土地所有者承諾の連絡
- (3) 2月24日 臨時理事会で当該議案議決
- (4) 2月27日 不動産売買契約書締結
- (5) 3月23日 評議員事業報告会で報告
- (6) 4月～ 施設基本計画検討、実施設計策定
- (7) 9月 土地引き渡し
- (8) 令和6年5月 工事着工
- (9) 令和6年12月～ 建物完成、移転準備
- (10) 令和7年4月 移転、竣工

令和4年度第4回理事会が開催されました。

令和4年度第4回理事会が、理事、監事出席の下、2月24日（金）午前10時から、洛南身体障害者福祉会館において開催されました。

本理事会は、元々予定されていたものではなく、いたはし学園移転候補地の売買契約書締結に向けて、臨時に開催したものです。

理事会では、いたはし学園移転候補地（伏見区聚楽町）土地購入について審議され、原案どおり承認されました。

審議事項

- 1 いたはし学園移転候補地（伏見区聚楽町）土地購入について。



(本部事務局)

『あすなろ喫茶』でリラックス

午前の活動が終わる頃、「今日は何飲む？」「ホット？アイス？」「ミルクと砂糖はある？」「氷あり？なし？」と喫茶注文の聞き取りが始まります。あすなろでは毎日午後 2:30 頃から喫茶の時間を設けています。一日の活動が終わり、帰宅前の時間にお好きな飲み物を飲みながら、ホッと一息入れて頂く時間です。

ご希望される方のみですが、コーヒー、紅茶、ココア、抹茶オレ、カルピスやりんご、ブドウジュース等のメニューの中から毎回選んで頂いています。注文の聞き取りやオーダー表の作成は主に利用者さんが行って下さいます。毎回アイスコーヒーを頼まれる方や、甘いジュースがお好きな方、実物を見て「これ」と選ばれる方等、「今日は何にしようかな…？」と考えるのも楽しみなようです。ちなみにジュースで一番の人気は「イチゴミルク」です。お店に仕入れに行った時は、棚に並べてあるイチゴミルクをほぼ全部買って帰り常備しています。



たくさんの飲み物が並びます～



午後の喫茶時間になると、担当の職員がオーダー表に合わせて飲み物を準備していきます。利用者さんに合わせてとろみをつけたり、吸い飲みやプラコップに入れたりとお一人お一人に合わせて作るので大忙しです。出来上がった飲み物を皆さんにお配りし、美味しそうに飲まれている様子を見てこちらもホッと一安心。



手早く作ります！

短い時間ですが、お好きな飲み物でリラックスできる「あすなろ喫茶」の時間はこれからも大切に続けていきたいと思えます。

(洛南障害者デイサービスセンター「あすなろ」：小林 千里)

伏見エリアTOPICS 【京都いたはし学園】

バレンタイン特別企画！ 手作りチョコを作ろう、を実施しました！

2月11日（土・祝日）にバレンタインが近いということもあり、手作りお菓子作りに取り組んで頂きました！

カップケーキやチョコバナナに可愛くトッピング、ハート型チョコに挑戦して頂きました。男女問わずたくさんの利用者さんが集まり楽しい時間を過ごすことができました。

前日から楽しみにしていた方が多く、「明日は楽しみ！」という声をたくさん聞きました。完成できたお菓子は持って帰って頂き、自身で食べられる方もいれば可愛くラッピングし家族にプレゼントしている方もおられました。

次回も皆さんが楽しめる企画を考えていきたいと思えます！

（京都いたはし学園：長濱 琴乃）



祝日プログラム！ 焼肉を食べにいこう、を実施しました！

2月23日（木・祝日）は翌日の生産準備もあることから「作業をしてから焼肉を食べに行こう！」を企画しました。焼肉企画の案内をした時から皆さん目がキラキラ☆☆

急遽募った企画にも関わらず総勢16名と多くの方が参加されました。

午前中は軽作業や清掃、厨房作業などとても忙しく作業に取り組み、午後からは歩いて新堀川にある『焼肉・やる気』に。



焼肉のオーダーが始まると焼いても焼いてもすぐに肉は無くなり…。ピピンバや唐揚げ、たこ焼き、最後の締めアイスも好きなだけ盛られ、皆さん制限時間ぎりぎりまで本当によく食べられていました！

黙々とひたすら食べる席、話をしながら大盛り上がり食べる席など色々でしたが笑顔いっぱい、おなかもいっぱい皆さん普段の仕事とはまた違いリラックスされとても楽しそうでした。また仕事頑張ってください！

（京都いたはし学園：濱中 優希）

北野天満宮に行ってきました！

コロナのおかげでまともな外出行事ができなくなり早3年。どこかへ行きたいとの思いが日増しに強くなってまいりました。利用者会議でも、「そろそろ外出したいなあ」、「せっかくこの時期なら、梅でも見てみたい」との声が上がり、「じゃあ梅を見るならどこだろう?」、「京都で梅を見るならやっぱりここは外せないでしょう」ということで、行って参りました北野天満宮。

当日は少し薄曇りでしたが、この時期としては穏やかな天気。道も比較的空いており、スイスイと今出川御前まで。大きな一の鳥居に、これまた大きな梅花祭の真っ赤なのぼりが我々を迎えてくれました。そろそろ観光客も戻ってきているようで、観光バスや団体さんの姿も見かけます。

通常なら有名なあの楼門からお邪魔するところですが、今回は比較的空いている東門から境内へ。(車いすでのお参りはこちらからの方がアクセス良好です)

まだまだ満開とは言えないまでも、早春の香りでいっぱいの北野天満宮。コロナの影響で一時は閑散としていましたが、少しずつ賑わいを取り戻してきたようで、大勢の参拝者や観光客が梅の花を楽しんでいました。

さてこの日は観梅のみならず、御本殿の御神前でお参りもさせていただきました。合格祈願の修学旅行生や、賑やかな外国人観光客に紛れて、今年一年の健康や家内安全、コロナ終息などなど色々お願いしてきました。

「東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花 主なしとて 春を忘るな」

比較的車いすでの利用も容易な北野天満宮。みなさんも一度訪れてみられてはいかがでしょうか？



(デイスポット「楽」：塚本 太郎)